

2020年度 課題研究指導実施方針

教 員 名	藤 井 一 弘
指 導 分 野	<p>博士課程前期課程の担当授業科目である「経営哲学」に関連する分野。少々、具体的に述べるならば、一般に言う「哲学」における認識論にあたる「経営学の方法論」、同じく存在論にあたる「経営とは何ものかを、その基盤から明らかにする経営存在論」、同様に倫理学にあたる「経営とはどうあるべきかを問う、経営倫理学」に関連する諸分野である。</p>
指 導 方 針 (指導の概要・日程等)	<p>[修士論文]</p> <p>上記指導分野の性格上、修士論文としての要件は、研究テーマに関して、先学の研究成果を十分に吸収し、各自の問題意識にしたがって再構成したうえで、できるならば、さらなる展開の方向を示唆すること、にある。</p> <p>そのために、まず英語文献・日本語文献を問わず、研究テーマに関わる重要な既存研究（文献）を、本来の意味での批判的視点をもって十分に咀嚼していく、というところから始める。修士論文においては、既存研究を学修する過程で明らかになった各自の問題意識に基づいて既存研究を再構成し、各自の視点を打ち出し、自己の見解を論理的に展開する、ということになる。</p> <p>上述の目的を達成するためには、当然のことながら、経営学についての基礎知識、ならびに英語文献を読みこなす力を、すでに有していることが前提となることに注意されたい。</p> <p>[研究調査]</p> <p>[修士論文] に準ずる。</p>